



山ろうだより

山形県立山形聾学校
R7 第11号
令和7年10月10日

地域・文化交流 山形産の材料で「おいしい味噌作りをしよう」 ～縦割りグループでの活動～

10月2日（木）体育館にて、山二醤油株式会社さとみの漬物企業組合から新関さとみさんを講師に迎え、味噌作りを行いました。今年度、山聾スポーツ祭や創立記念式花植え活動のときと同じ縦割りグループ内で2つに分かれ、3～4人で1桶の味噌づくりをしました。味噌の材料である山形県産米の「はえぬき」を使った米麹や「さとのほほえみ」という大豆の匂いを嗅いだり試食したりしながら、味噌がどのように作られるのか説明がありました。袋の中の大豆と米麹と塩がしっかりと混ざるように、グループのみんなで協力して取り組みました。完成は、来年の夏ごろの予定です。



グループごとの桶は、段ボールに入れて、保管しています。



山聾創立98周年記念の取り組み ～みんなで98冊以上の本を読もう～

前期は、53冊！

幼稚部は55冊！

夏休み中に読んだ本や朝読書で読んだ本など、一人で何冊も読んでいる児童生徒もいました。図書室や教室にある本だけではなく家庭にある本についても、読んだらぜひカードに記入しよう！



前期終了式・後期始業式～目標に向かって～

10月2日(木)に前期終業式があり、3日間の休業後の6日(月)に後期始業式が行われました。それぞれの式の中では、各部代表児童生徒の発表がありました。緊張しながらも、前期を振り返りながら、後期に向けた目標について、堂々と伝えてくれました。以下は、校長の話を掲載します。

校長先生の話～後期始業式から～

今日から、令和7年度 後期の学習が始まります。10月にはいよいよ山聲祭がありますね。皆さんのが、一生懸命に練習したことや学習のまとめをしたことをたくさんの人々に見てもらえることが楽しみです。山形聲学校の仲間、みんなで協力して、心に残る素晴らしい山聲祭にしていきましょう！

さて、後期の学習や生活では、どんなことに挑戦したいですか？

新しいことを学んだ時、「できるようになった！」と感じられることを、ひとつでも多く増やしていきましょう。また、「なぜだろう？」と思ったことは、自分から調べたり聞いたりすることで、自分の考えが広がったり、深まったりします。先生に教えてもらうだけでなく、自分から学ぼうとする気持ちを、これからも大切にしていきましょう。

そして、世界に目を向けると、11月に「東京2025デフリンピック」が開かれます。

6月にキャラバンカーが来ましたね。山形県出身の選手が

3名出場します。山形聲学校にいたことのある斎藤丞選手も陸上で出場します。聴覚障がいのある選手たちが、自分の目標に向かって頑張る姿を見るのが楽しみですね。



みなさんは、どんな目標を立てていますか？それぞれの目標や夢に向かって、そして、「仲間を大切にする日本一の学校」を目指して、今日からまた元気に進んでいきましょう。



■編集後記■ 保護者面談への対応ありがとうございました。学校教育活動において、ご意見やご質問などありましたらいつでもご連絡ください。引き続きよろしくお願ひいたします。

今年度は、5年に一度の国勢調査対象の年になっています。寄宿舎の皆様にご協力いただきありがとうございました。(文責：笛原)